

加工・業務用向けダイコンの作型別適品種を用いた長期安定生産

加工・業務用ダイコンの、夏まき秋～初冬どり、秋まき冬どり、秋冬まき春どり作型向け品種の選定

背景・目的

- ・国内産ダイコン約150万トンの、約60%が煮物、漬物、おでんや刺身のつまなど加工・業務用用途として利用される。
- ・加工・業務用には、根重1,300～2,000g程度で、加工歩留まりが高く、用途に応じた一定品質のダイコンが、長期間安定供給されることが求められる。

成果の内容

【各作型と適する品種は以下のとおりである】

作型	適品種名	8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		4月		5月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
夏まき 秋初冬 どり	夏みどり8号, YR夏みのり 夏の翼	○				□																
	夏みどり8号, YR夏みのり 夏の翼, 夏の守		○				□															
	献夏37号, YR郷ひびき MRX-101, 夏天下																					
秋まき 冬どり	夏みどり8号, YR夏みのり 夏の翼, 献夏37号 YR郷ひびき, MRX-101				○			□														
	市の宮, 秋神楽																					
	市の宮, YR春の浦 C3-295					○			□													
秋冬まき 春どり	市の宮, YR春の浦 C3-295, 春宴					○				□												
	春宴, 春の砦								○													
	初神楽																					
	春宴, 初神楽 春神楽, 桜の砦 春宴, 蒼の砦 晩々G																					

○ 播種 □ 収穫 ～ 不織布直がけ ∩ P0トンネル

注：1) 収穫は、平成26～27年の成績から、根重が1300～2000gになると推測される期間とした。

2) 8月上旬～9月中旬播種は無マルチ栽培、10月上旬以降の播種はマルチ栽培。

導入メリット

各作型に適する品種を選択すると！



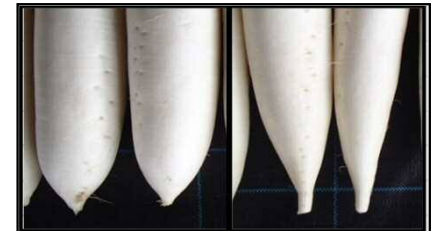
軟腐病



黒斑細菌病



空洞症



尻詰まりが良い



つまの張りが良い



加熱後に煮崩れしない

病害が減り、商品化率が上がり、定質定量生産により、農家の手取りが増える。

- ・加工歩留まりが上がり、残渣廃棄量が減る。
- ・加工品質が向上する。

期待される効果

- ・作型に適した品種を選択することで、長期間、一定品質のダイコンを生産できる。

普及対象・範囲

県本土全域のダイコン生産者